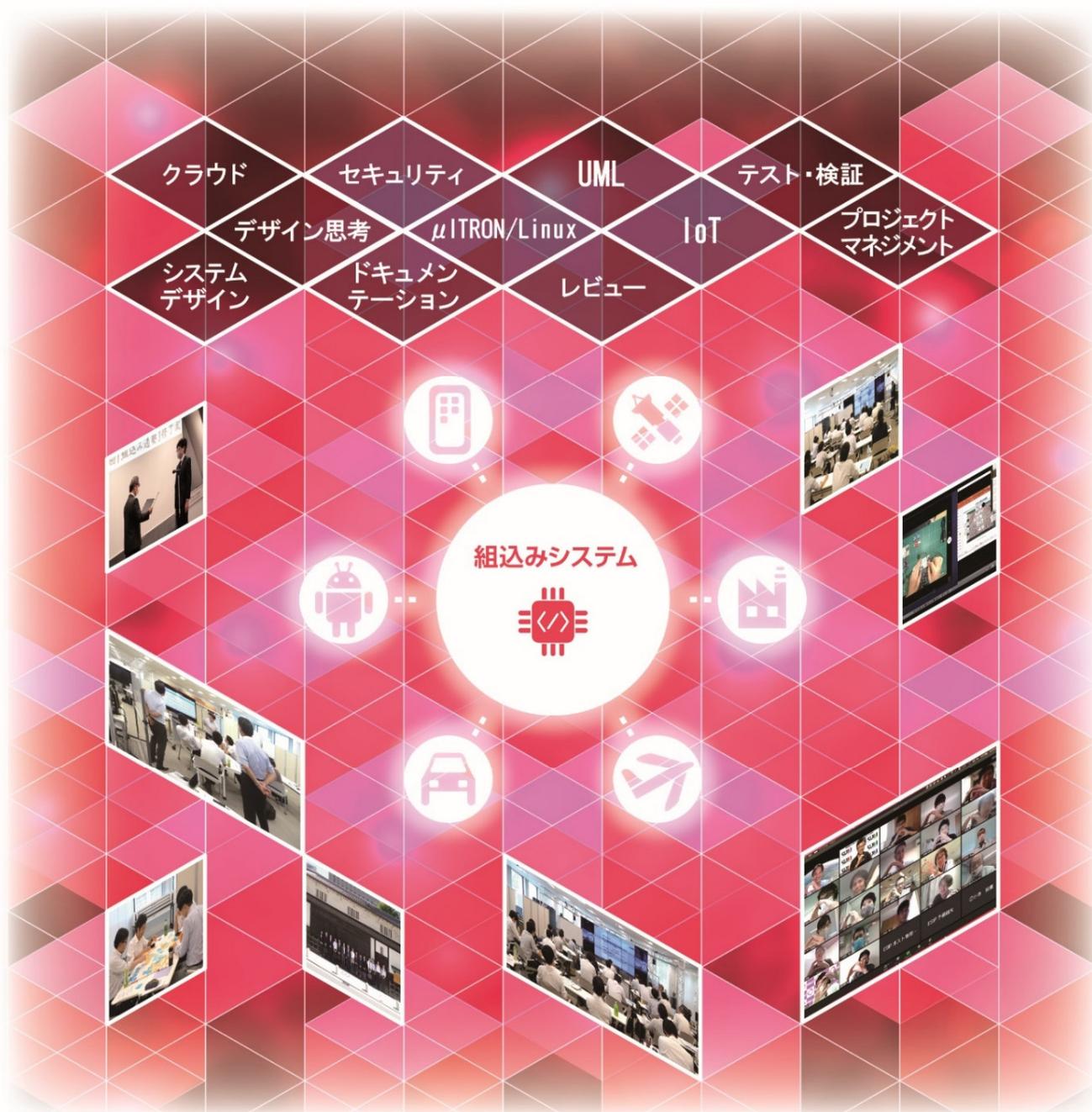


第19回
(2026年度)

組込みシステム産業振興機構
Embedded System Industry Promotion Organization ESIP

組込み適塾

目指せ！組込み開発をリードするアーキテクト！



4月6日受付開始、7月1日開講

主催：組込みシステム産業振興機構(ESIP)

共催(予定)：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 関西センター
大阪大学 大学院情報科学研究科

公益社団法人 関西経済連合会

後援(予定)：経済産業省 近畿経済産業局

(組込み適塾のコース)

実装エンジニアリングコース

組込み実装力の強化

Doを極める!

確実な実装

リアルタイムOS

コードリーディング

マイコンプログラミング

基礎科目

実装演習科目

アーキテクチャ設計コース

アーキテクトの養成

Howを極める!

全体を俯瞰したアーキテクチャ設計

構造設計

全体的な

リアルタイム性・並行性

検証の高度化

開発技術科目

支援技術科目

検証技術科目

システムデザイン科目

ビジネス・システムデザインコース

開発企画力の強化

Whatを設計できる!

価値の創出

サービス視点

デザイン思考

要求開発

システムモデリング

◆実装エンジニアリングコース

アーキテクトの設計を確実に実装につなげ、かつ電子機器の性能をより一層発揮させるエンジニアの育成をめざすカリキュラムです。

実際の開発現場で経験するケーススタディ演習を通じて、ハードウェア(マイコン・周辺I/F)やネットワークの特性をよく理解しつつ、実践的開発力の強化を目指します。

◆アーキテクチャ設計コース

製品の要求を実現するためのアーキテクチャ設計力強化をめざすカリキュラムです。

現場での開発経験を踏まえ、ソフトウェア工学の基礎的な講座から設計・検証のための手法を学ぶ講座を開設します。他社の技術者との交流を通じて、技術者自身の経験を振り返る場になります。

◆ビジネス・システムデザインコース

変化に対応した組込みシステム開発の最上流を担うことができる人材や新しい製品やサービスを企画できる人材を育成するコースです。アーキテクチャ設計コースの上流に位置づけし、アーキテクチャ設計に必要な要求定義を顧客やビジネスにとって満足いく結果とするために、コミュニケーション手法やモデリング手法を用いて、突き抜けた発想力やとがった独創力の強化を目指します。

募集要領

受講方式

【コース一括受講】 コース内の全ての科目を受講します。
 【科目一括受講】 科目内の全ての講座を受講します。
 【講座受講】 講座ごとに受講します。1講座から受講可能です。

申込期間

【先行申込み】 2026年4月6日～4月12日
 コース一括受講もしくは科目一括受講を含む申込みを優先で受け付けます。
 【一般申込み】 2026年4月13日～6月5日
 すべての申込みを受け付けます。

申込方法

【申込書と承諾書のダウンロードURL】 <http://www.kansai-kumikomi.net/kumikomi2>
 【申込書と承諾書のメール送付先】 esip_tekijuku@kansai-kumikomi.net

受講料

受講料			コース一括受講		科目一括受講		講座受講 (※2)	
			会員	その他	会員	その他	会員	その他
ビジネス・システムコース	B01-01 B01-05 その他		¥155,000	¥280,000			¥75,000	¥135,000
							¥49,000	¥89,000
							¥16,000	¥29,000
アーキテクチャ設計コース	開発技術科目 支援技術科目 検証技術科目 システムデザイン科目 D04-01		¥252,000	¥450,000	¥144,000	¥259,000	¥16,000	¥29,000
					¥43,000	¥78,000	¥16,000	¥29,000
					¥43,000	¥78,000	¥16,000	¥29,000
					¥49,000	¥89,000	¥49,000	¥89,000
実装エンジニアリングコース	基礎科目 実装演習科目 J02-01 J02-02 J02-03		¥247,000	¥445,000	¥79,000	¥142,000	¥16,000	¥29,000
					¥195,000	¥352,000	¥100,000	¥180,000
							¥85,000	¥153,000
							¥32,000	¥58,000

(※1) 表示金額は税別です。「会員」とは組込みシステム産業振興機構の会員(但し、准会員を除く)を指します。

(※2) 個別に受講料が示された講座を除き、1日間の講座の受講料(基本受講料)を示しています。半日間の講座は基本受講料の半額、2日間の講座は基本受講料の倍額となります。

講座一覧

2026年3月2日現在の予定です。最新の情報はホームページをご覧ください。

	科目	講座ID	講座名	講師(敬称略)	日程	実施形態	定員
	式典		入塾式	塾長: 楠本真二	6月23日	集合	60
ビジネス・システム		B01-01	デザイン思考によるビジネスアーキテクティング【WS】(3日間)	慶應義塾大学: 白坂成功/広瀬 毅	8月26日～28日	集合	20
		B01-02	組込み技術者のためのファシリテーションと戦略【WS】 ー 生成AIを活用した事業戦略立案ワークショップ ー	ヒューマンフロント研究所: 前川隆昭	7月3日	集合	30
		B01-03	モデルベースシステムズエンジニアリング	慶應義塾大学: 西村秀和	9月10日	集合	30
		B01-04	IoT システム開発における要求開発手法の実践	(株)アクト・コンサルティング: 西岡由紀子 大阪大学: 春名修介	9月7日	集合	15
		B01-05 D04-01	システムアーキテクティング【WS】(2日間)	共通講座 慶應義塾大学: 五百木誠/大浦史仁	8月19日、20日	集合	25
アーキテクチャ設計コース	①開発技術科目	D01-01	組込み開発現場からみたアーキテクト(午前半日)	ピースラッシュ(株): 山田大介、大阪大学: 春名修介	7月1日	集合	30
		D01-02	組込みシステムのためのUX設計【演習】(午後半日)	(株)mct: 白根英昭	7月1日	集合	30
		D01-03	組込みのための要求工学 ー 手法の解説と生成AIを用いた演習 ー	名古屋国際工科大学: 山本修一郎	7月9日	ハイブリッド	30 (15)
		D01-04	モデリング概論: 構造化設計、UMLからSysMLへ	テクマトリックス(株): 牧隆史 (株)SIRAS: 末久健二、大阪大学: 春名修介	7月6日	集合	30
		D01-05	AI時代の組込み開発にUMLを使う方法基礎と事例	(株)SOLAN/信州大学: 二上貴夫	7月2日	集合	30
		D01-06	AI時代のソフトウェア開発	名古屋大学: 山本雅基	7月10日	ハイブリッド	30 (15)
		D01-07	イベント駆動型ソフトウェアのアーキテクチャ設計	大阪大学: 春名修介	7月7日	集合	30
		D01-08	時間駆動型ソフトウェア設計	東京都市大学: 横山孝典	7月8日	ハイブリッド	30 (15)
		D01-09	リバースモデリング【演習】	ティーエンジニアリング(株): 阿部哲	7月29日	集合	30
		D01-10	システム開発ドキュメンテーション【演習】	(同)イオタクラフト: 塩谷敦子	7月13日	集合	30
		D01-11	組込みソフトウェア構築技法 ー 経験者が語るリアルタイムシステムの助所 ー	(株)ヴィッツ: 南角茂樹	7月14日	集合	30
②支援技術科目	D02-01	組込みシステム開発管理の実践技法	千葉工業大学: 小笠原秀人	7月28日	集合	30	
	D02-02	品質目標の策定とテスト結果分析・フィードバック演習【WS】	バルテス(株): 石原一宏、江添智之	7月22日	集合	30	
	D02-03	データ指向のソフトウェア品質マネジメント【演習】	ヤマハ(株): 小池利和	7月24日	集合	30	
③検証技術科目	D03-01	組込み開発現場から見た検証アーキテクト(午前半日)	パーソルAVCテクノロジー(株): 前田圭吾	7月23日	集合	30	
	D03-02	組込み開発における検証効率化技法(午後半日)	三菱電機(株): 久野倫義	7月23日	集合	30	
	D03-03	テスト技法	宮崎大学: 片山徹郎	8月6日	集合	30	
	D03-04	検証アーキテクトとしてのシステム分析・テスト設計【WS】	宮崎大学: 片山徹郎	8月7日	集合	30	
④システムデザイン科目	D04-01 B01-05	システムアーキテクティング【WS】(2日間)	共通講座 慶應義塾大学: 五百木誠/大浦史仁	8月19日、20日	集合	25	
	①基礎科目	J01-01	組込みシステム概論(午前半日)	大阪大学: 谷ロー徹	7月16日	オンライン	40
J01-02		μITRONを使用した組込みプログラミングの基礎【演習】(2日間)	ルネサスエレクトロニクス(株): 平井雅子	8月24日、25日	集合	30	
J01-03		Linuxを使用した組込みシステムの基礎	(株)ソシオネクスト: 大和田清志	7月31日	ハイブリッド	30 (15)	
J01-04		コードリーディング【演習】	ティーエンジニアリング(株): 阿部哲	7月30日	集合	30	
J01-05		高品質コーディング - 規約に基づくコーディングと検査	ピースラッシュ(株): 宇野結	8月21日	集合	30	
②実装演習科目	J02-01	実装演習「マイコン/FPGA」(5日間)	イワハシ工学: 岩橋正実 (株)マクニカ: 宮本重和 藤澤幸穂	9月30日～10月2日、 10月13日～14日	集合	15	
	J02-02	実装演習「クラウドセンシング」(3日間)	サイバー大学: 大江信宏	10月7日～9日	集合	20	
	J02-03	実装演習「Linux 環境演習: Git Yocto」(2日間)	(株)ソシオネクスト: 大和田清志	9月8日、9日	集合	30	
	式典		修了式	塾長: 楠本真二	11月17日	集合	60

※講義時間は9:30から17:30までです(途中、1時間の昼休みを含む)。「半日」の講座は、午前半日は9:30～13:00、午後半日は14:00～17:30です。



組込みシステム産業振興機構
理事長 尾上 孝雄
(大阪大学 理事・副学長、
同 大学院情報科学研究科 教授)

これまでのデジタル技術の進展により、あらゆる分野でデジタルトランスフォーメーション(DX)が進み、近年では、生成AIなどの先端的な技術を科学研究開発に活用する事例も増え、デジタル&AIトランスフォーメーション(DAX)の時代に入りつつあります。令和8年度から開始される第7期科学技術・イノベーション基本計画でも、我が国が国際的な優位性を取り戻し、社会経済の発展や国家安全保障に繋げていくために「科学の再興」が謳われており、AI for Scienceの推進と産学官を結節するイノベーション・エコシステムの高度化が重視され、今後施策が取られて行くこととなります。

このような中、組込みシステムはフィジカルAIを含めた中核的構成要素を担っており、その重要性はますます高まっています。同時に、組込みシステムに求められる性能の向上、機能の多様化、開発規模の拡大・複雑化はとどまることを知りません。また昨今では、品質の維持だけでなくセキュリティの確保が必須となっています。

組込みシステム産業振興機構は、「組込み適塾」において、こうした時代の変化に対応し、最先端情報技術を身につけた、次代を牽引するリーダーの育成を行うことにより、日本の組込みシステム産業の国際競争力の強化に貢献してまいります。

21世紀に入って以降この約四半世紀に、ICT機器だけでなく、私たちの暮らしに欠かせない生活家電製品、そして自動車などから大規模な産業用機械・設備、インフラに至る幅広い分野で、さまざまな機器がデジタル技術の導入・拡張によって機能や操作性を格段に向上させ、信頼性も高めています。組込みシステムは、これらの機器でのデジタル技術の中核をなすものです。また、多くの機器のIoT化が進む中、情報セキュリティの強化だけでなく、ローカルにAI等を用いて部分処理するエッジシステムなど、組込みシステムで要求される機能は多様化し、性能への要求も高まる一方、信頼性の確保が不可欠です。

弊所では、第6中期目標として社会課題解決と産業競争力の強化を掲げ、新たな産業技術・知見の創出とその社会実装に向けた取り組みの他に、優秀な産業人材の育成を、重要な基幹業務の一つと位置づけています。そのため、イノベーションスクールやデザインスクールなど、ダイバーシティ、若手研究者支援等の視点から、様々な仕組みを整備しています。弊所関西センターが2008年以降、継続してご協力させていただいております「組込み適塾」は、このミッションに適合する特色ある事業です。組込み適塾で学ばれる皆さまが、組込みシステム産業を通じて、新しい価値の創出や社会課題に対処し、今後の日本のイノベーション創出の牽引役として活躍されることを、心より祈念致します。



産業技術総合研究所
関西センター
所長 秋田 知樹

組込み適塾とは



組込み適塾
塾長 楠本 真二
(大阪大学 大学院情報科学研究科
教授)

大阪の地で緒方洪庵が開いた適塾は、「学問・教育は、自由闊達に切磋琢磨することである」との精神の下、幕末から明治維新にかけて、数多くの俊才を輩出し、近代日本の確立に大きな役割を果たしてきました。

我々はその精神に則り、これからのIoT時代におけるモノづくり産業に重要となる最先端の組込みシステムに関する知識や技術を学び、高度な技術者を育成する場として、2008年に「組込み適塾」を創設し、18年間で約2,500名の受講生を迎えることができました。

第19回の組込み適塾は、適塾の精神である受講生が互いに切磋琢磨しながら成長するとともに、人的ネットワークを形成する場の提供に努めます。

この場を通じて輩出される人材が、組込みシステム産業の未来を拓くことにより、日本のモノづくり産業の発展に寄与することを願っております。

連絡先

問合せ先

組込みシステム産業振興機構「組込み適塾」事務局

T E L : 072-751-9951

E-mail : esip_tekijuku@kansai-kumikomi.net

U R L : <http://www.kansai-kumikomi.net/kumikomi2/>

